

しば子先生の

ミ

ニ

ミ

ニ

芝生教室

第57回 曲線



先生：コーティング肥料について説明して来たけれど良く分かったかしら・・・

生徒：『硫黄被覆肥料』、『硫黄被覆樹脂被覆肥料』、そして『樹脂肥料』の三つがありました・・・

先生：そうね、それぞれに特徴があるわね・・・初期溶出型やリニア型とか・・・

生徒：それぞれ、その何型・・・とか言うのを説明してもらえますか・・・？

先生：そうだったわね・・・じゃあこのグラフを見てちょうだい・・・まず『初期溶出型』・・・これは SCU、PCSCU など硫黄被覆タイプの爆発システムに代表される溶出パターンね・・・初期に割と多く溶出して後半は溶出が少なくなるタイプ・・・撒いた直後にある程度肥料を効かせたいとき、涼涼な地域や初期に生育させたい時などに有効ね・・・

生徒：なるほど・・・文字通り初期溶出型ですね・・・では『リニア型』は？

先生：これは浸透圧を利用した樹脂被覆タイプに特徴的な溶出パターンで、基本的に溶出量は常に一定であるということ・・・樹脂の厚さなどを調節してグラフの角度・・・つまり全体の溶出期間を調節することが可能だわ・・・60 日タイプとか 120 日タイプとか表示する場合もあるわね・・・芝生にとっては毎日刈られたり踏圧がかかったりしているので養分が一定の量で常に溶出するリニア型のコーティング肥料はとても有効だわね・・・しかも雨や土壌条件、土壌微生物などに影響されにくい・・・

生徒：確かに・・・毎日お茶碗一杯のご飯を食べていれば常に健康な体になる・・・ですね・・・

先生：しば代ちゃんうまいこと言うわね・・・その通りよ、養分は多すぎても少なすぎてもダメ・・・土壌条件や雨の量に関係なく一定に溶出するリニア型の肥料は日本のような高温多湿で有機物が多くて土壌微生物の活動が高い地域ではとても有効で理想的な肥料と言ってもいいかもしれないわ・・・し

かも溶出は土壌温度だけによって変化するので、それをコンピューターで計算して溶出期間を事前に計算することができるのよ・・・(HP 参照)・・・

生徒：すごい！そんなことが

できるんですか！そんなにいい肥料ならみんなこれを使えばいいじゃないですか・・・

先生：それがそうはいかないのよ・・・樹脂被覆肥料はどうしても価格が高くなってしまいうから見かけの値段で買わない人が多いわ・・・効果や中身を考えれば実際はそうじゃないんだけど・・・

生徒：なるほど・・・やはり安い肥料をたくさん使った方がいいという考えですか？

先生：そういう人が多いわね・・・即効性の肥料の窒素成分は脱窒したり無駄が多いので芝生に吸収される効率は 50% 程度と考えられるわ・・・それに比べて優れた緩効性の肥料であれば 90% 程度は吸収されるし、肥効が安定するから芝生の健全性は確実に高くなって病虫害やストレス抵抗性が上がるので価格以上の効果があると言えるわ・・・

生徒：やはり知識が無いと無駄にお金を使ってしまふんですね・・・

先生：その通りね・・・そうそう樹脂肥料と言ってもすべてがリニア型ではないのが注意ね・・・もう一つの『シグモイド型』というのもあるのよ・・・

生徒：これはずっと溶出しなくて急に出来て来るんですね・・・

先生：そう、爆発システムである硫黄被覆の硫黄を樹脂に変えて、爆発するタイミングを遅らせたものね・・・シグモイドの意味は S の文字の意味・・・溶出カーブが S 字に似てるでしょ・・・これは作物の種類によって肥効を途中から効かせたいものなんかに使う用途ね・・・芝生にはあまり向かない溶出パターンね・・・



しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・・・
shibako@hugh-enterprise.co.jp